

## 学長定例記者会見要項

日 時： 2019年4月4日（木） 11:00～11:45  
場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

### 発表事項

1. 教授の着任について
2. 山形大学行動計画 「Annual Plan 2019」 について
3. 山形大学農学部と山形県食品産業協議会が連携協定締結
4. 三菱ケミカル株式会社と包括的な産学連携協定を締結
5. 実用フランス語技能検定で文部科学大臣賞団体賞・個人賞受賞

### お知らせ

1. 小学生対象「みんなで楽しむ科学実験教室」を開催
2. やまがた夜話の開催について

### （参 考）

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：2019年4月18日（木） 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

## 学長定例記者会見（4月4日）発表者

### 1. 教授の着任について

学長

こやま きよひと  
小山 清人

学術研究院教授（創薬科学）

やまぐち ひろあき  
山口 浩明

学術研究院教授（企画部担当）

あわぶち ひでひと  
泡瀬 栄人

### 2. 山形大学行動計画 「Annual Plan 2019」 について

学長

こやま きよひと  
小山 清人

### 3. 山形大学農学部と山形県食品産業協議会が連携協定締結

農学部副学部長

むらやま ひでき  
村山 秀樹

山形県食品産業協議会 会長・理事

こん せいごう  
近 清剛

### 4. 三菱ケミカル株式会社と包括的な産学連携協定を締結

理事・副学長

おおば よしひろ  
大場 好弘

### 5. 実用フランス語技能検定で文部科学大臣賞団体賞・個人賞受賞

学術研究院 准教授（フランス語教育／表象文化論）

おおくぼ きよあき  
大久保 清朗

学術研究院 講師（フランス語教育／表象文化論）

かきなみ りょうすけ  
柿並 良佑

人文社会科学部 2年

しばた まどか  
柴田 和佳

地域教育文化学部 2年

たけだ はるの  
竹田 春乃

平成31年（2019年）4月4日

## 教授の着任について

### 【本件のポイント】

- 平成27年度から山形大学では教員組織を一元化し、すべての教員が学術研究院に所属している。
- 教員は、各学部・研究科における教育課程の担当として学部・研究科等に配置されている。
- 教育研究組織のさらなる充実のため、4月1日付けで教授が2名着任した。



### 【概要】

山形大学では、平成27年(2015年)度から、より高度な教育、研究、診療及び社会貢献を推進することを目的として、教員を全学的に一元管理する「学術研究院」を設置しています。教員の配置については、毎年度各部局が教育課程（教育プログラム）編成案を策定し、学術研究院長（学長）が認定します。このような、一元管理による戦略的な教員人事は、第二期中期目標期間の実績評価においても、高く評価されたところです。この度、4月1日付けで、2名の教授が着任しましたのでご紹介します。

■ 山口 浩明（やまぐち ひろあき）

採用年月日：平成31年4月1日

担当：創薬科学

■ 泡淵 栄人（あわぶち ひでひと）

採用年月日：平成31年4月1日

担当：企画部

お問い合わせ

総務部人事課（秋葉）

TEL 023-628-4023

メール [sjinin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:sjinin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

平成31年（2019年）4月4日

## 山形大学2019年度行動計画 「Annual Plan 2019」について

### 【本件のポイント】

- 「Annual Plan 2019」は、山形大学のステークホルダーに今年度山形大学が取り組むべき課題と目標等を周知し御理解いただくことを目的に作成。
- 山形大学が更に飛躍するため、特に今年度重点的に実施する23項目を策定。年度計画<sup>(※1)</sup>を上回る成果や高い到達点を目指す。
- 初の試みとして、担当理事が本学Youtube公式チャンネル上で各プランを説明。



### 【概要】

山形大学の2019年度の行動計画として、「Annual Plan 2019」を策定しました。  
「Annual Plan」は、山形大学のステークホルダー（教職員、学生・保護者等）に当該年度の経営方針及び行動計画を周知し御理解いただくことを目的に毎年度始めに策定しているものであり、各理事・副学長を中心に、教職員が「Annual Plan」の項目を日常的に意識し、業務に取り組んでいくこともねらいとしています。  
今年度は、山形大学が更に飛躍するため23項目を策定。各プランは、特に今年度重点的に実施するもので、年度計画を上回る成果や高い到達点にチャレンジするものを基本に策定しました。

### 【作成に当たり留意した点】

山形大学が更に飛躍するための項目に精選（全23プラン）しており、各プランは、特に今年度重点的に実施するもので、年度計画を上回る成果や高い到達点にチャレンジするものを基本に策定しています。  
また、第3期中期目標<sup>(※2)</sup>・中期計画<sup>(※3)</sup>が達成すべき数値・時期を明示し、達成度の評価が可能となるように具体的な目標・計画の設定となっていることから、「Annual Plan 2019」の各プランにおいても、達成すべき数値・時期が明確となるようにできるだけ具体的に策定しています。

### ※用語解説

1. 「年度計画」とは、中期目標・中期計画を着実に実施するために、各年度において取り組む業務運営の具体的な計画であり、文部科学大臣に届け出たものです。
2. 「中期目標」とは、国立大学法人が6年間において達成すべき業務運営に関する目標であり、文部科学大臣が定め、各国立大学法人に提示し、公表しているものです。第3期とは、2016(平成28)年度～2021年度の6年間のことを指します。
3. 「中期計画」とは、国立大学法人が中期目標を達成するために作成した6年間の計画であり、文部科学大臣の認可を受けることとなっているもの。

お問い合わせ

企画部企画課 國分

TEL 023-628-4193

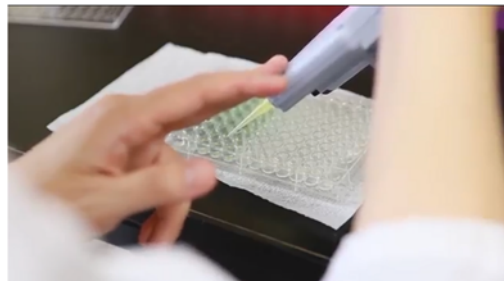
メール kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成31年（2019年）4月4日

## 山形大学農学部と山形県食品産業協議会が連携協定締結

### 【本件のポイント】

- 連携協定の締結により、食品分野の研究及び技術開発において連携を強め、時代のニーズを見据えた食品開発を進める。
- 地域の基幹的な産業である食品産業の振興を図ることにより、地域の経済の活性化に寄与する。
- 学生の企業インターンシップ等の人材交流を進めることにより、学生の県内定着を図る。



### 【概要】

山形大学農学部と山形県食品産業協議会は、平成31年4月4日に連携協定を締結しました。食品分野の研究及び技術開発において連携を強めることで地域食品産業の振興を図り、地域の経済発展に寄与することを目標としたもので、今後、共同研究プロジェクトを推進し、時代のニーズにマッチした、新たな食品の製造開発を目指します。また、学生の県内定着に向けてインターンシップなど人材交流も推進していきます。

### 【協定内容】

締結年月日：平成31年4月4日（※3年間の事業計画を策定し、事業を進める。）

- 主な連携事項：
- （1）共同研究プロジェクトの推進
    - ・食品企業が抱える課題を大学が持つ知見やノウハウを用いて、共同して解決していく。
  - （2）講演会、セミナーの開催
    - ・食品産業協議会が実施する会員向けの講演会やセミナーに大学の教員等を派遣する。
  - （3）施設、設備等の利用
    - ・大学が保有する機器や設備の見学説明会を開催する。
    - ・食品の機能性表示に欠かせない成分分析等を大学が有する機器により実施する。
  - （4）人材交流
    - ・学生が希望する企業でインターンシップをできるように食品産業協議会が調整する。
    - ・企業の経営者が、大学において特別講義を実施する。

### 【今後の展望】

山形県の食料品製造業の製造品出荷額等は約3,361億円（H29）で、県内の製造品出荷額等の11.6%（H29）を占めており、基幹産業のひとつと言えます。今回の協定締結により、山形県食品産業協議会と山形大学農学部が食品分野における連携を強め、共同で時代のニーズにマッチした新たな食品を製造開発することにより、地域経済の活性化に寄与してまいりたいと考えております。

また、学生のインターンシップ受入れ、非常勤講師派遣等の人材交流も行い、相互協力可能な分野において連携を強化してまいります。

（お問い合わせ）

山形県食品産業協議会常務理事 高橋 亘

TEL 023-679-5081 メール food1@y-cluster.jp

山形大学鶴岡キャンパス事務部総務課企画広報室 野寺 智史

TEL 0235-28-2910 メール nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成31年（2019年）4月4日

## 三菱ケミカル株式会社と包括的な産学連携協定を締結

### 【本件のポイント】

- 山形大学と三菱ケミカル株式会社とが包括的な産学連携推進に関する協定を締結。協定期間は、2019年から5年間。
- 本協定では、同社石化部門と連携し、包括共同研究を実施するとともに、研究室配属の学生を本共同研究に参加させることによる教育効果も期待。
- 本学が締結している民間企業との包括的な産学連携の協定は、本協定を含め8件。（2019年4月現在）



(左) 三菱ケミカル株式会社 岡本純一専務執行役員（当時）  
(右) 山形大学 大場好弘理事・副学長

### 【概要】

山形大学と三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀昌之 以下 三菱ケミカル）は、平成31年(2019年)3月14日（木）、三菱ケミカル本社において、包括的な産学連携推進に関する協定を締結しました。両者が保有する人的資源及び知的資源の活用や両者が実施する事業への協力等を推進し、相互の発展を図ることを目的とするもので、協定期間は、2019年から5年間。

今後、環境への配慮を意識した研究テーマで共同研究を実施します。既に8テーマでの包括共同研究契約を締結し、この4月から共同研究活動を開始しています。三菱ケミカルとは、これまでにも、自動車分野等向け新規ポリマー材料の開発を研究テーマに包括的共同研究を実施した実績があります。今回の協定により、これまでの連携関係をさらに強化するとともに、学生参加型の共同研究とすることで、教育的効果も期待されます。

### 【経緯】

三菱ケミカルは、三菱化学、三菱樹脂、三菱レイヨン統合する形で2017年に発足した国内最大の化学メーカーで、多様な製品と技術の組み合わせで社会に役立つ新たな価値を創造し、社会の変化とともに成長しているグローバル企業です。

一方、山形大学は、材料化学分野で国内トップクラスの研究実績を持ち、基礎研究から実用化を意識した応用研究まで幅広い研究領域を有しています。特に、産業界との連携に力を入れており、民間企業等との共同研究は、近年、大きな実績を上げています。

山形大学と三菱ケミカルとは、三菱化学株式会社時代の平成17年(2005年)から5年間、自動車分野等向け新規ポリマー材料の開発を研究テーマに、包括的共同研究を実施した実績があります。以降も、研究者レベルでの共同研究を実施することで、連携強化を図ってきました。

### 【概要・特徴】

本協定は、両者が保有する人的資源及び知的資源の活用や両者が実施する事業への協力等を推進し、相互の発展を図ることを目的とするものです。今後、三菱ケミカルの石化部門と連携して、環境への配慮を意識した研究テーマで共同研究を実施します。既に、新しい触媒技術開発、材料設計・製造技術開発、未活用留分の再利用など8テーマでの包括共同研究契約を締結し、この4月から共同研究活動を開始しています。4月2日（火）には、山形大学米沢キャンパスにおいて、キックオフミーティングを実施しました。

今回の協定の特徴は、学生参加型の共同研究であることです。具体的には、教員の管理のもと、研究テーマごとに研究室配属の学生を参加させ、企業感覚での研究手法などを学び、即戦力となり得る人材の育成を目指します。ほかにも、大学院進学を目指す学部学生を対象とした、三菱ケミカルの研究所訪問など、人材育成の点でも連携を図ることとしています。

本件に関するお問い合わせ先

山形大学産学官連携推進本部 五味康信

TEL:023-628-4843

(参考) 三菱ケミカル株式会社 会社概要

2018年4月1日現在

会社名	三菱ケミカル株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル
代表取締役社長	和賀 昌之
創業	1933年8月31日
発足	2017年4月1日
資本金	532億2900万円
事業内容	機能商品、素材他
連携売上収益	2兆5,481億円(2017年度)
連結従業員数	40,290名(2018年3月末現在)
グループ会社数(関係会社を含む)	358社(2018年3月末現在)

三菱ケミカル株式会社 プレスリリース

[https://www.m-chemical.co.jp/news/2019/1206377\\_7467.html](https://www.m-chemical.co.jp/news/2019/1206377_7467.html)



平成31年（2019年）4月4日

## 実用フランス語技能検定で文部科学大臣賞団体賞・個人賞受賞

### 【本件のポイント】

- 公益財団法人フランス語教育振興協会が実施する「実用フランス語技能検定試験（仏検）」において、本学が2018年度の文部科学大臣賞団体賞を受賞
- 2018年秋季試験で4級に満点合格した1年生（受験時）の学生2名が個人賞（奨励賞）を受賞



### 【概要】

公益財団法人フランス語教育振興協会が実施する実用フランス語技能検定で、山形大学が2018年度の文部科学大臣賞団体賞を、学生2名が個人賞を受賞し、3月22日に日仏会館（東京・恵比寿）で表彰されました。

山形大学では、学生達の自主的な取り組みにより、語彙力や聴解力のアップにつなげようと、実用フランス語技能検定試験（仏検）の受験を教員達が支援しています。2018年度は、春季の受験者が111名で国立大学として2位となったことや、受験者の試験結果などから、毎年3団体に授与される文部科学大臣賞に選ばれました。また、昨年秋季に受験した1年生(当時)の学生2名が4級に満点で合格し、それぞれ個人賞（奨励賞）を受賞しました。

### 【山形大学におけるフランス語教育の取り組み】

山形大学では全学部対象の基盤教育科目で、初修外国語（第2外国語）としてフランス語を開講しています。学生達の自主的な取り組みにより、語彙力や聴解力のアップにつなげようと、フランス語の担当教員（大久保清朗准教授、柿並良佑講師、合田陽祐准教授、）たちが、毎年2回行われる文部科学省後援の実用フランス語技能検定試験（仏検）に向けて、授業時間外で対策講座を開講するなど、学生の学びをサポートしてきました。受験地が山形市であったことから、昨年の秋には、本学に初めて仏検の準会場を設置するなど受験生の利便性向上にも貢献したほか、フランス文化に親しみをもちてもらうためのイベント（フランス独立記念日の祝祭であるパリ祭や暗唱コンクールなど）を企画するなどの活動も行っています。また、人文社会科学部では、フランス語圏（フランス、カナダ等）への留学派遣も行っています。

### 【実用フランス語技能検定試験（仏検）】

公益財団法人フランス語教育振興協会が年に2回（春季、秋季）主催する検定試験（文部科学省後援）。フランス語の実用能力を客観的に測る日本独自の検定試験で、1級から5級まで、学習状況に応じて、毎回1万人以上が受験しています。

#### ■文部科学大臣賞団体賞

2013年度に創設され、その年度における出願者数とその増加率および試験結果等を勘案し、年度を通じたフランス語教育への取り組みを総合的に判断した上で、特に優秀と認められた3団体に授与されます。

2018年度は、国立大学では2位の受験者数（春季111名）となったこと等により、山形大学が選出されました。

#### ■個人賞

春秋各季・全級の試験において特に優秀な成績を収めた方には、毎年3月に成績優秀者表彰式で各種賞状、賞品が授与されます。

本学からは、2018年秋季の検定試験4級で満点合格した1年生（当時）の2名が、個人賞（奨励賞）を受賞しました。4級は「大学1年終了程度」の学力<sup>(※)</sup>とみなされるため、11月の時点で、1年生で学習するべきフランス語学力を完璧に身につけていたことを意味する素晴らしい成績です。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 大久保清朗（フランス語教育／表象文化論）

TEL 023-628-4227 okubo@human.kj.yamagata-u.ac.jp



※参考（仏検 Web サイトより <http://apefdapf.org/>）

4 級 日常のフランス語

程度：基礎的な日常的フランス語を理解し、読み、聞き、書くことができる。

標準学習時間：100 時間以上（大学で週 1 回の授業なら 2 年間、週 2 回の授業なら 1 年間の学習に相当。高校生も対象となる。）

2019年4月4日  
山形大学

\*詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. 小学生対象「みんなで楽しむ科学実験教室」を開催

山形大学SCITAセンターでは、山形県産業科学館（霞城セントラル4F）において、小学生を対象に科学の楽しさを体験してもらうイベント「みんなで楽しむ科学実験教室」を開催します。

日時：平成31年(2019年)4月21日（日） 10時30分～12時15分／13時00分～14時30分

場所：山形県産業科学館（山形市城南町1丁目1-1霞城セントラル2F/4F）

※参加無料

## 2. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

5月のテーマは「市民と考える近代山形と大陸」。山本陽史教授をコーディネータに4回にわたって、戦前に大陸に渡った人々の足跡を紹介します。

平成31年（2019年）4月4日

## 小学生対象「みんなで楽しむ科学実験教室」を開催

### 【本件のポイント】

- 子ども達の理科離れに歯止めをかけることを目的に平成25年(2013年)度から年複数回開催。2019年度も引き続き開催することが決定。
- 山形大学SCITAセンターで養成しているサイエンス・コミュニケーター「スライムマイスター」が中心となって、山形大学SCITAセンターの学生スタッフとともに子ども達に科学の楽しさを伝える。
- 山形大学栗山恭直教授（理学部担当）のサイエンスショーも開催。



### 【概要】

山形大学 SCITA センターでは、平成 31 年(2019 年)4 月 21 日（日）に、山形県産業科学館（霞城セントラル 4 F）において、小学生を対象に科学の楽しさを体験してもらうイベント「みんなで楽しむ科学実験教室」を開催します。このイベントは、子どもたちの理科離れに歯止めをかけようと、同センターが企画したもので、平成 25 年(2013 年)度から年に複数回開催しており、今年度も開催いたします。実験内容は、子どもたちに大人気の 3 種類を用意。大きくふくらむスライム、長くのびたりするスライムや薬用はありませんがお風呂で泡がでる入浴剤作りに挑戦できます。イベントでは、山形大学 SCITA センターが養成しているサイエンス・コミュニケーター「スライムマイスター」が中心となって、学生スタッフと一緒に子どもたちの指導にあたります。また、今回も前回に引き続き、栗山恭直教授（理学部担当）が不思議で楽しいサイエンスショーも行います。

### 【イベント内容】

開催日時：4月21日（日） 10時30分～12時15分  
13時00分～14時30分  
※サイエンスショーは11時00分と13時30分の2回

#### <実験教室> 会場 山形県産業科学館「発明工房」（霞城セントラル4階）

やまがた『科学の花咲かせ隊』\*スライムマイスターと山形大学 SCITA センター学生スタッフが小学生を対象に科学の楽しさを体験してもらうイベントを実施します。（小学生以下のお子さんでも体験可能ですがその際は保護者の方向伴をお願いいたします。）

実験内容 ①「スライム風船」 ストローで吹くと大きくふくらむスライムを作ります。

②「のびーるスライム」 長くのびるスライムを作ります。

③「カラフルカプセル」 いろんな色の小さな丸いカプセルを作ります。

#### <サイエンスショー> 会場 山形県産業科学館「フリースペース」（霞城セントラル2階）

「水素は未来のエネルギー」

山形大学栗山恭直教授（理学部担当）による科学へ理解を深める楽しいサイエンスショー。

水素を発生させ、爆発実験を行い、燃料電池の水素からエネルギーを取り出す仕組みを楽しく分かりやすくショーを通じて実感してもらいます。

※ 山形大学 SCITA センターでは、「科学の花咲く」プロジェクトとして、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。養成されたサイエンス・コミュニケーター（スライムマイスター、クラゲマイスター、蔵王マイスター、月山マイスター）たちは、『科学の花咲かせ隊』として地域や家庭で科学の不思議さや面白さを教えるイベント等で活躍しています。

お問い合わせ

山形大学 SCITA センター（棚井）

電話 023-628-4517

主催:やまがた『科学の花咲く』プロジェクト

参加無料  
予約不要

# みんなであそぶ 科学実験教室

スライム  
マイスター **60名**

のび～るスライム  
スライム風船



山形大学  
栗山教授  
サイエンスショー  
「水素は未来の  
エネルギー」 **30名**

第1回 11:00～  
第2回 13:30～

SCITA  
センター **60名**  
学生スタッフ  
しゅわしゅわ  
入浴剤を作ろう



日時

4月21日(日)

午前の部 10:30～12:15  
(受付終了)12:00

午後の部 13:00～14:30  
(受付終了)14:15

会場



霞城セントラル4F  
産業科学館「発明工房」

募集対象:幼稚園児・小学生  
指導者:スライムマイスター

※ 小さなお子様は保護者同伴でお願いします

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局  
(山形大学SCITAセンター内)

営業時間 平日10:00～17:00

お問い合わせは TEL 023-628-4506

〒990-8506 山形市小白川町一丁目4-12

<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/>

# やまがた夜話

## 「市民と考える近代山形と大陸」

戦前に大陸に渡った人びとの足跡を紹介します。ある人は研究者として、またある人は開拓移民として、そしてある人は大陸への憧れを実現しての渡航でした。そしてそれぞれは全く異なる人生行路を歩むことになったのです。今回は放送大学で卒業論文に満蒙開拓移民を研究した齋藤宏子さん、また、戦前ご両親が山形から大連に渡った鈴木幸子さんに話していただきます。

2019年

5月8日(水)「生物学者阿部 襄 吉林と庄内と」

山本 陽史 氏

5月15日(水)「山形県と満蒙開拓移民ー日本語を忘れても

歌を忘れなかった残留孤児ー」

齋藤 宏子 氏(放送大学前科履修生) 聞き手: 山本 陽史 氏

5月22日(水)「父母の大連での日々」

鈴木 幸子 氏(山形市民) 聞き手: 山本 陽史 氏

5月29日(水)「大陸体験を継承することの意味」

鈴木 幸子 氏・齋藤 宏子 氏・山本 陽史 氏

※時間はいずれも18:30 ~ 19:30です。

コーディネーター：山本 陽史 氏

山形大学学術研究院教授／放送大学客員教授



会場

ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス

山形駅東口より徒歩1分

対象

高校生・学生・一般市民  
定員: 50名 **入場無料**

申し込み

チラシ裏面の参加申込書に  
必要事項を記入のうえ、  
FAX、郵送、メール等  
お申し込みください。

主催

大学コンソーシアムやまがた

申し込み  
問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階  
TEL : 023-628-4842 FAX : 023-628-4820  
E-mail : unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いします。

ただし、受講申込者が定員を超えた場合は、入場をお断りさせていただく場合がございます。

参加日	参加希望日に☑を付けてください。 <input type="checkbox"/> 2019年 5月 8日 (水) 山本 陽史 氏 <input type="checkbox"/> 2019年 5月15日 (水) 齋藤 宏子 氏、山本 陽史 氏 <input type="checkbox"/> 2019年 5月22日 (水) 鈴木 幸子 氏、山本 陽史 氏 <input type="checkbox"/> 2019年 5月29日 (水) 鈴木 幸子 氏ほか2名
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	※必須ではありません。

※ この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

**【お申込み・お問合せ先】**

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp